

米国環境保護庁  
ワシントン D.C. 20460

大気放射局

2007年10月11日

ENERGY STAR®外部電源装置 (EPS) パートナーおよびその他関係者各位

米国環境保護庁 (EPA) は、ENERGY STAR の EPS 基準バージョン 2.0 の第 1 草案に対する意見を歓迎する。この第 1 草案は、EPS のモデルが ENERGY STAR 適合となるための新たなエネルギー消費効率基準案を概説するものである。また、本草案が確定した時点で、現行のバージョン 1.1 基準と差し替わることが予定されている。

現在市販されている最もエネルギー消費効率のよいモデルをより効果的に認識できるように、以下の内容を含め、基準書の幾つかの部分が修正された。

- 定格出力電流の 25%、50%、75% および 100% における平均効率測定値で表される稼働モード効率の基準値引き上げ。
- 無負荷時消費電力の基準値引き下げ。
- 銘板出力電力が 75W 以上の電源装置に対し、力率要件を追加。

また、バージョン 2.0 基準の第 1 草案には、以下の注目すべき内容が含まれている。

- AC-AC の設計上の違いに関する関係者の意見および ENERGY STAR に提出されたデータに基づき、EPA は、市場を反映し、消費電力削減を促進する機会を認めるために、バージョン 2.0 基準において、AC-DC および AC-AC モデルに対して個別の無負荷時消費電力要件を提案する。
- EPA は、別冊の「単一電圧外部 AC-DC および AC-AC 電源装置のエネルギー消費効率算出用試験方法 (2004年8月11日): "Test Method for Calculation the Energy Efficiency of Single-Voltage Ac-Dc and Ac-Ac Power Supplies (August 11, 2004)" で説明されている試験方法に対する修正については提言していない。この試験方法は、ENERGY STAR のウェブサイトより入手可能である。
- EPA は、バージョン 2.0 基準の発効日を 2008 年 7 月 1 日に予定している。この日程は、カリフォルニア州の EPS に対する強制基準の第 2 段階基準発効日と一致する。(この第 2 段階基準は、ENERGY STAR のバージョン 1.1 基準よりも厳しいものが予定されている。)

既に認識されているように、EPS基準の改定により、一部の電子機器のENERGY STAR基準が影響を受けることになる。

**従来の ENERGY STAR オフィス機器基準および家庭用電子機器基準** (すなわち、コンピュータ、モニタ、画像機器、テレビ、電話製品、セットトップボックス、および音響/DVD 機器に対する基準) : EPA は、すべての製品の電源装置の効率を適切と考えられる範囲で早急に改善できるように努力していく。EPS のバージョン 2.0 の要件が各最終使用製品の基準に採用される時期については、市場の現状や基準改定の状況、および各製品区分に関するその他要因を考慮に入れ、それぞれ決定される。オフィス機器および家庭用電子製品の ENERGY STAR のパートナーに対しては、各製品区分に対する具体的な詳細が記載されている個別の文書が EPA より配信される予定である。各製品区分に対する概要は、以下のとおり。

- **コンピュータおよび画像機器**：これら製品区分に対する現行基準のもと、パートナーは、適用される場合において、EPS バージョン 1.1 基準を満たすことが必要とされている。EPS バージョン 2.0 基準は、コンピュータおよび画像機器に対して、それぞれの第 2 段階基準の実施に合わせて発効する。
- **テレビ、モニタ、セットトップボックス、および音響/DVD 機器**：現行基準において EPS 要件は明確には含まれていない。しかし、現在改定中の基準または今秋には改定作業が開始される基準には、EPS バージョン 2.0 基準が組込まれる予定である。
- **電話製品**：EPS 要件は、ENERGY STAR 電話製品基準の中核である。EPS バージョン 2.0 基準の発効（2008 年 7 月 1 日発効予定）に伴い、電話製品基準に EPS 要件を取入れることが EPA の意向である。よって EPA は、電話製品基準の修正を行う。

**適合 EPS を有する主に携帯して使用される製品**：ENERGY STAR の対象ではないが ENERGY STAR 適合 EPS を自社製品（例：携帯電話、MP3 機器、水の濾過装置）に組込むことにより ENERGY STAR プログラムに参加している製造事業者は、現在 2008 年 7 月 1 日に予定されている EPS バージョン 2.0 基準の発効日以降において、これらの製品に使用されている EPS がこの新基準を満たしていなければならないことを認識する必要がある。このパートナー区分に関する詳細は、以下のウェブサイトにて入手可能である。

[http://www.energystar.gov/ia/partners/product\\_specs/program\\_reqs/EUP\\_Partner\\_Commitments.pdf](http://www.energystar.gov/ia/partners/product_specs/program_reqs/EUP_Partner_Commitments.pdf)

本書には付属書類として、EPA が EPS バージョン 2.0 基準の第 1 草案におけるエネルギー消費効率基準案を策定するために使用した、モデル特定情報を隠した状態のデータが添付されている。関係者に対し、**2007 年 11 月 9 日までにこの第 1 草案に対する意見を提出するように求める。意見は、ICF International の Robin Clark (rclark@icf.com) にメールにて提出すること。EPA は、11 月上旬に第 1 草案を検討するためのオンライン会議を開催する予定である。** オンライン会議の詳細および検討課題案は間もなく入手可能となる。オンライン会議前の意見提出は歓迎するものであり、第 1 草案に関してより建設的な対話が可能になる。提出された全ての意見は、提出者が意見の非公開を希望する場合を除き、ENERGY STAR の基準策定に関するウェブサイト（ENERGY STAR Product Development Web site）に掲載される。

EPA、業界、およびその他関係者間による意見や情報の交換は、ENERGY STAR の成功に不可欠である。EPA による EPS 基準改定に関する進捗状況の把握や意見の閲覧は、基準策定ウェブサイト（[www.energystar.gov/productdevelopment](http://www.energystar.gov/productdevelopment)）の”Revisions to Existing Specifications（現行基準の改定）”をクリック後、該当ページにて可能である。

貴方の意見および提案に感謝する。これまでと同様に、EPA の Andrew Fanara への連絡は、電話（(206)-553-6377）またはメール（Fanara.Andrew@epa.gov）にて可能である。

Best Regards

Andrew Fanara  
ENERGY STAR Product Development Team Leader  
U.S. Environmental Protection Agency

付属書類：

ENERGY STAR EPS 基準バージョン 2.0 の第 1 草案  
第 1 草案のエネルギー消費効率基準を策定するために使用されたモデル非特定のデータ